

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	倫理
科目基礎情報						
科目番号	0029		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	〔教科書〕 『新倫理 最新版』 (菅野覚明・熊野純彦・山田忠彰 ほか8名、清水書院、平成29年) (参考書・補助教材) 必要な資料や文献は適宜プリントして配布する。					
担当教員	町 泰樹					
到達目標						
〔本科目の目標〕 青年期の特質と課題を理解すると同時に、先達の実践について、その基本事項を理解する。それによって、自己を客観的にとらえ、自己の生き方を模索するための自覚的態度を養うことが本科目の目標である。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1. 人間の特質を理解できる。	人間の特質を示す諸概念について、自分の言葉で説明できる。		人間の特質を示す諸概念に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		人間の特質を示す諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
2. 心理的離乳やモラトリアムといった青年期特有の問題について理解できる。	青年期特有の問題を示す諸概念について、自分の言葉で説明できる。		青年期特有の問題を示す諸概念に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		青年期特有の問題を示す諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
3. アイデンティティや自己実現の重要性を理解できる。	アイデンティティや自己実現に関する諸概念について、自分の言葉で説明できる。		アイデンティティや自己実現に関する諸概念に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		アイデンティティや自己実現に関する諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
4. 自然哲学やソフィストの特質を理解できる。	自然哲学やソフィストに関する諸概念について、自分の言葉で説明できる。		自然哲学やソフィストに関する諸概念に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		自然哲学やソフィストに関する諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
5. ギリシア・ヘレニズム・ローマの特質を理解できる。	ギリシア・ヘレニズム・ローマの特質について、自分の言葉で説明できる。		ギリシア・ヘレニズム・ローマの特質に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		ギリシア・ヘレニズム・ローマの特質に関して、一問一答式で答えることができない。	
6. ユダヤ・キリスト教、イスラム教、などを理解できる。	ユダヤ教・キリスト教・イスラム教などの宗教に関連した諸概念について、自分の言葉で説明できる。		ユダヤ教・キリスト教・イスラム教などの宗教に関連した諸概念に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		ユダヤ教・キリスト教・イスラム教などの宗教に関連した諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
7. 儒家や道家を中心とした中国思想を理解できる。	中国思想に関する諸概念について、自分の言葉で説明できる。		中国思想に関する諸概念に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		中国思想に関する諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
8. 近代から現代までの各種科学観について理解できる。	近代から現代までの科学観について、自分の言葉で説明できる。		近代から現代までの科学観に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		近代から現代までの科学観に関する諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
9. 民主主義の成立に関わる社会思想を理解できる。	民主主義の成立に関わる社会思想に関する諸概念について、自分の言葉で説明できる。		民主主義の成立に関わる社会思想に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。		民主主義の成立に関わる社会思想に関する諸概念について、一問一答式で答えることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	〔本科目の位置付け〕 1年次の「世界史」を基礎としつつ、スタンダードな倫理思想史を学び、下記の授業項目にそって個々の問題を考察・検討していく。3年次の「政治・経済」、4年次の「倫理学」「哲学」に関連する基礎知識として位置づける。					
授業の進め方・方法	本科目は、講義形式で授業を進行する。適宜、レポート課題を課す。授業で学んだ事項に関する現実社会への適用等、主体的な学びの姿勢を発揮してほしい。					
注意点	〔学習上の留意点〕 単になる暗記に終わることなく、自分自身で問題を考え抜く態度を身につけること。教科書や適宜配布するプリントを参考に毎回復習し、60分以上の自学自習を行うこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	人間とは何か	人間の特質を理解できる。		
		2週	青年期の課題と自己形成 (1)	心理的離乳やモラトリアムといった青年期特有の問題について理解できる。		
		3週	青年期の課題と自己形成 (2)			
		4週	青年期の課題と自己形成 (3)	アイデンティティや自己実現の重要性を理解できる。		
		5週	青年期の課題と自己形成 (4)			
		6週	ギリシャ神話の世界	古代世界における神話の役割について理解する。		
		7週	自然哲学 (1)	ポリスや自然哲学の特質を理解する。		
		8週	自然哲学 (2)			
	2ndQ	9週	ソフィストとソクラテス	ソクラテスの活動を通して、ソクラテスの基本的な考えやソフィストの特質を理解する。		
		10週	プラトン	プラトン哲学の概要について理解する。		
		11週	アリストテレス	アリストテレス哲学の概要について理解する。		

後期		12週	ヘレニズムの思想（１）	エピクロスやストアのゼノンの学習を通して、ヘレニズムの思想について理解する。
		13週	ヘレニズムの思想（２）	
		14週	問題演習の時間	前期の学習内容について、演習問題をもとに復習する。（非評価項目）
		15週	前期期末試験の答案返却・解説	これまでの達成度を確認する。試験において間違えた部分を理解できる。（非評価項目）
		16週		
	3rdQ	1週	旧約聖書の世界	旧約聖書の内容を知り、ユダヤ教について理解する。
		2週	キリスト教	キリスト教について理解する。
		3週	キリスト教の展開	
		4週	イスラーム	イスラームについて理解する。
		5週	仏陀の教え	原始仏教について理解する。
		6週	仏教の展開	
		7週	孔子	孔子の思想について理解できる。
		8週	孟子	孟子の思想について理解できる。
	4thQ	9週	礼治主義と法家思想	礼治主義と法家思想について理解できる
		10週	老荘思想	老荘思想について理解できる。
		11週	ルネサンスと宗教改革および経験論と合理論	ルネサンスと宗教改革およびベーコンの経験論とデカルトの合理論について学習し、それらによって世俗化が進んだことを理解する。あわせて、近代から現代にいたる様々な科学観について理解する。
		12週	社会契約説（１）	ホッブズ・ロック・ルソーの社会契約説について理解する。
		13週	社会契約説（２）	
		14週	問題演習の時間	後期の学習内容について、演習問題をもとに復習する。（非評価項目）
		15週	後期期末試験の答案返却・解説	これまでの達成度を確認する。試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。（非評価項目）
		16週		

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	10	0	20	100
基礎的能力	70	0	0	10	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0